

# 地域学校協働連携NEWS

11月30日(木)、明和小学校の学校運営協議会と只見町地域学校協働本部協議会の様子を取材しました。学校運営協議会では、先日の地域連携担当教職員等研修会において取り上げた「熟議」が行われました。

## 明和小学校 学校運営協議会

湯田校長先生による学校評価報告の後、熟議は3グループに分かれて行いました。KPT法(Keepよくできている Problem 課題 Try 目指す子ども像)による、「明和っ子に育みたい力」がテーマです。よくできていると感じることも、課題の方に挙げられる等、参加者の見方や感じ方によって捉え方は異なります。これも、様々な立場の方が参加する学校運営協議会ならではの姿です。それらを踏まえ、目指す子ども像について協議しました。その後は学校運営に関する質疑応答がありました。この協議会の内容は、貴重な意見として今後の明和小学校の教育活動に活かされます。



**熟議**は様々な立場の人が同じテーブルに着いて、じっくり話し合いながら課題解決を目指すこと。この熟議を繰り返し重ね[Try]の部分であがった取組を実践につなげることが大切であり、これには校長先生のマネジメントが重要になります。成果はすぐに現れるものではなく、『**コミュニティスクールはゆっくり成長**』するものです。地域の方々と協力し、焦らず進めることが、いい学校・いい地域づくりにつながっていきます。



【グループ別の熟議】



【全体での共有】

## 只見町地域学校協働本部協議会

今年度2回目となるこの協議会は、各小中学校の学校運営協議会の終了後、只見中学校を会場に行われました。この日のテーマは「放課後子どもクラブ」について。ただみコミュニティークラブの平山代表による「現状と課題」について説明があった後、参加者全員によるグループ協議が行われました。平山さんからは、地域の方を講師にした体験活動を実施している活動状況の紹介と共に、講師をしていただける方の募集について話がありました。参加者からは子どもクラブに関する具体的な質問があがるなど、貴重な情報共有の場となっていました。



【平山代表による説明】



【グループ協議】



【地域学校協働本部委員の発言】

学校運営協議会と地域学校協働本部協議会を構成するメンバーは、教員や保護者だけでなく、地域住民、自治振興会役員、企業等経営者等、様々です。これらの方々がそれぞれの立場で真剣に発言し、議論されている姿が印象的でした。只見町では「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が連携・協働しながら取り組んでいこうと着実に歩みを進めています。